

従業員向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		ドライバーさんを導入し得ることで中の支援員数を確保できている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		走り回って怪我をしないようにわざと導線を曲げている等の工夫をしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		毎日しっかりと清掃を行い、環境設定を行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		職員室横の相談室や、脱衣所を簡易的な静養室として使用できるようにしている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		年に1回の懇談会を実施
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		各教室での会議や全体での会議にて意見を取りまとめ業務改善に繋げている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12		必要に応じて外部評価をいただいている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		2か月に1回のペースで医療機関を講師として招き、研修を実施している
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		モニタリングや普段の支援内容を通じて計画を作成している
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		支援方法や接し方についての会話を日頃より行っている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		支援計画は使用しているアプリ（HUG）上でいつでも確認出来る状態にしている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		日々の行動観察よりアセスメントに繋げることが出来ている

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		策定するうえでどのような形で支援ができるか話し合って支援内容の設定をしている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		各教室の会議にてプログラム立案を行えている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		定期的に各教室にて会議を実施し、プログラムの更新物品の購入等行っている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		状況に応じて対応職員の変更やプログラムの調整等実施している
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		送迎前にどのような形で支援を行うか話し合っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1	終了後必ずできていないわけではないが、翌日支援開始までには話題に出すようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		アプリ上で記録を記入する際に振り返りと検証・話し合いを行っている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		各職員に児童の様子を聞きながらモニタリング実施できている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12		基本活動を土台に支援を行っている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12		こちらから答えを提示するのではなく自分たちで考えることが出来るような声掛けを実施している
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12		管理者・児発管・第二児発管が参加している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		利用児童が通院している病院から講師を招き研修を実施している
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12		適宜連絡を取り合い連携を取ることが出来る
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12		担当者会議等で他利用施設の情報を頂いた際には職員間で共有することが出来る
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	2	高校3年での卒業生が今年度初めて出たので情報は提供できるように準備できている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12		見学や体験の受け入れなど連携を取っている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	4	感染症の為交流自体が少なくなっている 地域の公園で同じ学校の子を見かけた際に一緒に遊ぶことがあった
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	7	協議会等への参加はできていないが、地域のコミュニティーセンター等の関りはある為今後参加していきたい

保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		送迎時に一日の流れや最近気になることなどを報告している
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12		職員会議にて研修を実施した
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		契約時に重要事項説明書・利用契約書の読み合わせを行っている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		相談支援員の計画を基に聞き取りなどを行っている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12		説明後同意を得ている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		日頃から施設でのお話をお受けできる旨について保護者様へ伝達している
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	4	お迎え時に保護者様同士がお話されること等はあるが、施設側で保護者同士の交流を促す会を中々設けることが出来ていない。保護者参加型のレクリエーション等を通じて交流を促していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		当日に保護者様へ連絡を行い現状報告と今後の方針についてお伝えしている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12		HPで行事予定表、SNSで日々の支援内容、定期的なお便りとして行事で撮った写真を添付したお便りを作成・配布している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		社用携帯を用いて私用の携帯は基本的に使用しないようにしている
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		絵カードやホワイトボードを用いた筆談などで対応しちる	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	2	地域のごみ拾いなどを定期的で開催している。地域住民を招き入れている形ではないが、地域住民よりゴミ拾いに関して認知してもらっている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		マニュアル作成し消防の方をお呼びして避難訓練等もやっている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		BCPの更新・周知を行っている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		契約時やお薬の追加時に確認を行い、周知を行っている
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		保護者様の意向に合わせて対応を行っている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		安全計画を基に支援を実施している
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12		もしもの場合の対応（協力医療機関、保険適応）等についてお伝えしている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		ヒヤリハットの作成後は全職員で共有できるようにしている

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		虐待防止の研修を実施している
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12		重要事項説明書で保護者に説明 職員間では研修を設けて対応している